

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名：

『バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術が肝血行動態、肝機能、骨格筋に及ぼす影響』

研究機関名：東邦大学医療センター大森病院

研究責任者： 消化器内科

職位・氏名： 院内講師・松井哲平

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院消化器内科では、バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術をお受けになった患者様を対象として、治療後の肝血流動態、肝機能、骨格筋量、肝容積の変化を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術の副次的な治療効果の解明につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。
(承認番号:M22233)

対象者:2014年1月～2019年12月までに東邦大学医療センター大森病院消化器内科において、バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術を受けた方の診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

診療録から得た血液検査結果、心臓超音波検査結果、腹部超音波検査結果、腹部 CT 検査結果を用います。また、治療と同時に行われた肝静脈圧測定検査結果を用います。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院消化器センター内科

研究代表医師:消化器センター内科 松井哲平 役職:院内講師

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

職位・氏名 : 院内講師・松井哲平

電話 03-3762-4151 内線 77205